

『地震を想定した避難訓練について』

- ・ 本日の『大阪 880 万人訓練』は、13 時 30 分が開始時刻でしたが、先生方の研究発表会と重なってしまったため、学校独自の取組として4限目に実施することとしました。
- ・ 訓練内容は、『大阪 880 万人訓練』と同じく「南海沖を震源とする大規模地震が発生したことを想定し、津波も含めてどのように対応するのかを目的」にしています。
- ・ 『南海トラフ巨大地震』については、30 年以内に発生する確率は 70～80%と言われており、君たちが生きている間に発生する可能性は非常に高いということになります。
- ・ 「仮に、震度 7 程度の大規模地震が北区を襲ったらどれだけの被害が発生するのか」については、皆さんの家庭に配付されている『大阪北区ジシン本』に書かれていますので、時間のある時に見ておいてください。
- ・ 一例をあげると、「北区内の 5,000 棟以上の建物が倒壊し、6 割以上の建物が損壊。高層ビルが乱立している状況から建物の揺れ幅が大きく隣の建物とぶつかり合って壊れることも考えられる」と想定されています。
- ・ また、大地震の場合は、家の中の家具が倒れてきたり、テーブルや台の上に置いてあるテレビなどの電化製品などが飛んできたりするようなこともあります。
- ・ 昨年度も、この訓練の際にお伝えしていますが、皆さんのお家の寝室に倒れてくるような大きな家具などは置いていませんか。置いている場合は、金具で固定されているでしょうか。
- ・ 28 年前の『阪神淡路大震災』は早朝(5:46)に発生したため、寝ている状態で家具の下敷きとなり亡くなった方が多くありました。この訓練を機会に、もう一度、お家の中を見直し、家族で話し合ってみてはどうでしょうか。
- ・ しかしながら、皆さんはずっと北区で生活をしているわけではありません。仮に、5 月に実施した 3 年生の『修学旅行』中に、行先である四国地方で『南海トラフ巨大地震』が発生していた場合、場所によっては 10m 以上の津波が想定されています。

- ・ 10m を超えるような津波に襲われると、学校の校舎の 2 階・3 階あたりの高さでは、完全に流されてしまうことになります。
- ・ 今、住んでる地を離れた時のためにも、大地震による津波発生の可能性のある場合は「できる限り高い所に逃げる」が基本になることや、あわせて今居る場所（海に近い等）によっては、どこに避難するべきかを前もって確認しておくことが大切です。
- ・ 地震以外の自然災害について 1 点お知らせをしておきます。9 月になると、日本では台風や大雨による被害が例年多くなります。
- ・ 皆さんは、『二百十日』という言葉を知っていますか。立春(2 月 4 日頃)から数えて 210 日目にあたる 9 月 1 日頃は、農作物に甚大な被害を与える台風の被害が多い季節の目安となっています。また、99 年前に『関東大震災』が発生した日であることから 9 月 1 日は『防災の日』であることもよく知られています。
- ・ 近年、各地で大規模な台風や集中豪雨、長期の大雨など日本各地で頻繁に風水害が起こる時代となり、北区においても“よそ事”ではなくなってきました。実は、北区は北・南・東の三方が川に囲まれ、風水害の被害を受けやすい状況にあります。
- ・ 北稜中学校から歩いて 1 分ほどの大川のほとりに『水防碑』と書かれた石碑があるのを皆さんは知っているでしょうか。この碑の裏側をみると「北区は、これまで台風に伴う高潮により、幾多の水害に見舞われましたが、(中略)近年こうした大水害はほとんど見られなかったが、このような平時においてもなお一層人々が水防意識を高め、不断の努力で災害を防除することを念願してこの碑を建立する 昭和 54 年秋 大阪市」とあります。また、43 年前に建てられた石碑の表には「災害は忘れたころにやってくる」と刻まれており、先人の教えを今後も大切に守っていく必要があると感じています。
- ・ 来週の月曜日に『大雨による河川増水(氾濫)時の措置について』という保護者向けのプリントを配付する予定です。内容については
- ・ 自然災害を防ぐため、例えば、北区のいずれかの地域において大阪市(大阪市長)より河川氾濫の「警戒レベル 3(高齢者等避難)」、「警戒レベル 4(全員避難)」の発令があれば、学校は臨時休業の措置をとることになります。
- ・ その際は、本日、午後に実施される『大阪 880 万人訓練』と同様の防災スピーカーによる放送と緊急速報メールが配信されますので、皆さんも知っておいてください。